



# 第6503回 QCサークル長野地区 改善事例チャンピオン大会

地区スローガン：DXを活用したニューノーマル時代に即した、QCサークル活動（小集団改善活動）を推進しよう！

・DX(Digital Transformation)：先進的なデジタル技術の活用を通じて、デジタル化が進む高度な社会において新たな付加価値を生み出せるよう、業務そのもの、組織、プロセスなどを革新すること。

主催：QCサークル関東支部 長野地区

後援：QCサークル本部 ・ (一財)日本科学技術連盟 ・

長野県 ・ (一社)長野県経営者協会 ・ (公財)長野県産業振興機構

とき：2023年11月17日(金) 10:20~14:50 (受付 10:00~)

ところ：飯島町文化館 大ホール 住所：長野県上伊那郡飯島町飯島2489番地 TEL：0265-86-5877 (代)

HP：[https://www.town.iiijima.lg.jp/soshikiichiran/kyoiku/s\\_gakusyu/bunkakan/1341.html](https://www.town.iiijima.lg.jp/soshikiichiran/kyoiku/s_gakusyu/bunkakan/1341.html)

## 参加のおすすめ

本年度長野県内で開催された大会で「大会賞」を受賞された製造・技術・品証(SGH)部門と、事務・販売・サービス(JHS)部門の事例が一堂に会し発表を行う大会です。

他企業の活動を学ぶ中で、職場の活性化、意識改革、改善活動にお役立て頂くためにも、サークルメンバー、リーダー、指導者の皆様の参加をお勧め致します。

本大会で大会No.1と、事務・販売・サービス(JHS)部門No.1に選ばれたサークルは、**2024年2月9日(金)**に開催されますQCサークル関東支部チャンピオン大会へご出場頂きます。

## 特別講演

【テーマ】

『チームで問題を解決して生産性を上げるための  
QCサークル活動（小集団改善活動）』  
ーニューノーマル時代に即したQCサークル活動  
（小集団改善活動）とは？ー

【講師】

QCサークル関東支部 相談役 兼 企画委員  
出口 淳一 氏



QCサークル上級指導士  
(取得2021年)

### ■プロフィール

1980年 信州精機（現セイコーエプソン）(株)入社  
1982年 メカCAD導入担当  
1996年 品質工学全社展開担当  
2002年 TRIZ導入担当  
2006年 技術KI計画導入担当  
2008年 ブレイクスルー思考導入担当  
2019年 QCサークル関東支部 幹事長  
2020年よりQCサークル関東支部 相談役兼企画委員  
2022年よりQCサークル関東支部 長野地区相談役

## 大会に関するお問い合わせ

【大会事務局】

QCサークル関東支部長野地区 事務局

富士電機株式会社 松本工場 産業品質保証部 環境QMS推進課 山本 好信

E-mail：yamamoto-yoshinobu@fujielectric.com

TEL：070-8837-8820 FAX：0263-27-4993

## プログラム

- 10:00 ~ 受付
- 10:20 ~ 開会挨拶・表彰基準説明
- 10:40 ~ 体験談発表
- 12:10 ~ 昼食
- 13:00 ~ 特別講演
- 14:20 ~ 総評・審査結果発表・表彰
- 14:45 ~ 閉会挨拶

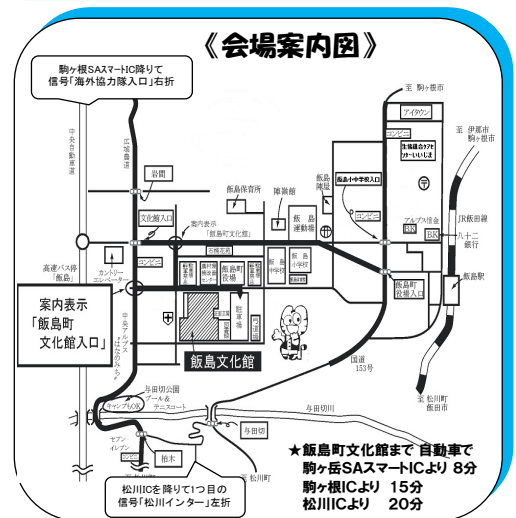
## 参加のお申込方法

- 参加費（資料、昼食代含みます）  
幹事会社 3,000円 一般会社 3,500円
- 申込方法  
別紙の参加申込書をE-mailもしくはFAXで、参加申込先までご送付下さい。
- 申込締切  
2023年 11月 2日（木）
- 参加について  
参加券の発券は致しません。  
当日受付にて企業名、氏名を確認させて頂きます。

\*QC長野地区は2024年3月1日の新会計年度よりインボイス制度を導入いたします。

2024年2月29日までは免税業者として、従来通りの請求とさせて頂きます。

## 会場案内図



### 《会場案内図》

駒ヶ根SA27-HC降りて  
番号「海外協力出入口」右折

案内表示  
「飯島町文化館入口」

飯島文化館

★飯島町文化館まで 自動車で  
駒ヶ根SAスマートICより 8分  
駒ヶ根ICより 15分  
松川ICより 20分

# 発表サークルの「観どころ・聴きどころ」

(発表順)

		会社名	サークル名	テーマ名
1	伊那ブロック大会	NTN(株) 長野製作所	「研削★A」	小径組立工程におけるチョコ停改善
		<p>将来を見据えた生産状況の把握を通してなぜチョコ停の問題に取り組む必要があるのかしっかりと動機付けを行うなど、全員参加の意識を向上させる工夫が随所にみられる大変参考になる改善事例になっています。小径ベアリングの組み立て工程には色々な設備があり、チョコ停の症状、原因も様々です。自部門だけでの改善が難しい状況でどのようにチョコ停を対策し、メンバーが成長していったのか注目してご覧ください。</p>		
2	SGHブロック大会	富士電機(株) 松本工場	「ENJOY」	試験工程における作業負荷の削減
		<p>大幅な増産が見込まれ作業負荷が100%を超える状況に対して、「試験工程における作業負荷の削減」をテーマにメンバー全員で「現場で困っている事」を取り上げて改善活動を行った結果、目標達成と共にメンバーが成長できた体験談です。要因解析/検証、リスク評価、対策を進め、真因究明から成果へと繋げる徹底したプロセスが観どころです。改善と併せてメンバーの人材育成にも重きをおいている活動をぜひご覧ください。</p>		
3	SGHブロック大会	富士電機パワーセミナツク(株) 飯山工場	「外装zero」	圧力センサ外装品 樹脂あふれ不良の低減
		<p>交代勤務のためメンバー全員が揃うことはできませんが、サークル運営の工夫として申し送り表に気付きを記載して情報共有しながら改善活動に取り組まれています。現象確認ではデータをグラフで表現することで事実を読み取り、要因分析では他部門を巻き込み新たな手法であるFTAにチャレンジしています。歯止めでは原因だったヒューマンエラーのリスク点検を他の工程にまで実施して未然防止につなげています。</p>		
4	JHSブロック大会	株式会社NTN上伊那製作所	「プラン・プロモート」	自ら率先して改善する5S3定活動への仕組みづくり
		<p>社内の改善活動や人材育成を担う部門が実施した小集団活動で、伊那ブロック主催の発表大会において、JHS部門で見事大会賞となった体験談です。全社を巻き込んだ大きなテーマに取り組み、あきらめずチャレンジしながら成果を挙げた活動となっています。他社の改善事例制度の詳細を知る機会には多くはありません。第一線で活躍している方だけでなく、改善活動を推進されている方にとっても参考になる改善事例ですのでぜひご覧ください。</p>		

## SGH部門・JHS部門とは・・・

『SGH』とは、製造・技術・品質保証部門の頭文字をとったモノづくりを主体とした製造業務、もしくはそれに関わる技術・品質保証業務に関する仕事を対象とした活動である。それ以外の直接生産に関わらない事務部門および販売・サービスなどを事務・販売・サービスの頭文字をとって『JHS』という。

## 地区旗（ジュラン旗）の由来

地区旗は別名「ジュラン旗」とも呼ばれ、私達QCサークル関東支部長野地区の象徴となっています。

ご存知の方も多いと思いますが、品質管理の世界的な権威者であり、我が国の品質管理の発展に貢献されたジュラン博士が、昭和41年に来日された折り、私達長野地区が所属している関東支部で、第14回QCサークル大会を「ジュラン博士を招待しての大会」と名付け開催しました。

この時、博士がQ旗の一部にサインをしてくださいました。(写真参照)

以来、この旗が関東支部のシンボルとなり、この旗の子供達を作り、支部内各地区に寄贈し、その地区のシンボルとなっています。

長野地区では、地区長会社が代々引き継ぎ、大会や大きな行事には掲げることになっています。

